

# 研究の概要

20 20 年 8 月 24 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	精液中の酸化ストレスがICSI臨床成績へ与える影響
代表研究者 (所属・氏名)：	生殖技術部門・渡部 菜美
研究の目的：	精液中の酸化ストレスは精子細胞膜やDNAにダメージを与え、不妊治療に影響する可能性がある。そこで体外受精における精子への酸化ダメージの影響と精液中の酸化度測定の有用性を検討した。
調査データ該当期間：	20 17 年 1 月 1 日 ~ 20 19 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	抗酸化サプリメント服用前後での酸化還元電位(sORP値)と精液所見を比較した。さらに採卵時のORP値の異常-正常群間でのICSI成績(正常受精率、分割期胚率、良好胚盤胞率)を比較した。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払います。患者試料を分析する際には、連結可能匿名化を行います。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い、符号のみで取扱いますので、個人情報は伝わりません。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反状態はない。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 生殖技術部門・渡部菜美
備考	